

電気食器洗い機〈60cm幅〉 F65700IWOP



設置マニュアル





Installation manual for AEG Built-in Dish-Washer. F65700IWOP.

設置工事は、必ず本設置マニュアルに従い確実に行ってください。本マニュアルに従わずに発生した故障、事故等に関する責任は負いかねます。本製品は単相 200V の電源を単独で使用し、20A の壁コンセントに差し込んで使用します。また、本製品は一般家庭でのご使用を想定して設計された電気用品です。

安全上のご注意

以下に示す注意事項は人への危害、財産の損害を防止するためのものですので、必ずお守りください。

図記号の詳しい説明は以下の通りです。

 警告	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。		この図記号は、必ず実行しなければならない『強制指示の行為』内容です。
 注意	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。		この図記号は、してはいけない『禁止の行為』内容です。

設置上のご注意

⚠ 警告

- ❗ 電源は単相 200V・20A の専用回路と漏電しゃ断器を必ず設けてください。
- ❗ また、電源プラグ (250V・20A) に合った専用コンセントを単独で使用してください。
- ❗ 電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないでください。漏電やショートによる感電火災の原因になります。
- ❗ 本製品はビルトイン専用機器です。必ず障害物をなくし、通風性を確保するなど、設置工事は、この設置マニュアルに従って確実に行ってください。
- ❗ 設置が適切でない場合、漏電、火災等重大事故につながるおそれがあります。電源回路の容量不足や据付工事不備があると、感電、火災の原因となります。
- ❗ 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って必ず「法的有資格者」が行ってください。
- ❗ 本製品は「法的有資格者」によるアース工事 (D種接地工事) が必要です。
- ❗ 接続、固定が不完全な場合、漏電、火災等重大事故につながる恐れがあります。
- ❗ アース接地工事が不完全な場合、故障、漏電時に感電などの原因となります。
- ❗ 絶対に分解・修理・改造を行わないでください。火災、感電、けがのおそれがあります。
- ❗ 水滴がかかる所、地下室等、湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。
- ❗ 絶縁不良、サビ、接触不良、漏電、感電、火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ❗ 本機をビルトインするシステムキッチンのキャビネットは確実に固定し、設置時およびご使用時に倒れないようにしてください。故障、破損、けが、漏電のおそれがあります。
- ❗ システムキッチンにビルトインする際、機器の接触部分の保護の為に養生を行ってから作業をしてください。
- ❗ 設置する床面は、後で本体を引き出せるように、必ず手前を平坦に仕上げてください。

はじめに確認してください

AEG 製電気食器洗い機をご購入される前に、必ず本設置マニュアルをご確認ください。

設計者／製品の設置を行う方へ

- 製品の性能を十分発揮する為にも、必ず本設置マニュアルをご確認ください。
- 本設置マニュアル指定の施工を行わずに発生した事故や損害に関し、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の設置後は、必ず本マニュアルを本製品のご使用者様、もしくは本製品の管理者様にお渡しください。

本製品のご使用者様／管理者様へ

転居や移設の際は、移設先でも同様の設置条件が必要となりますので、本製品の取扱説明書と共に、本設置マニュアルを大切に保管して下さい。







もくじ

安全上のご注意／設置上のご注意	1
はじめに確認してください	2
設計者／製品の設置を行う方へ	
本製品のご使用者様／管理者様へ	
A 本製品の開梱	3
開梱および同梱部品の確認	
ビルトイン用部品の確認	
B 本製品設置前の準備	4
本製品設置のためのキャビネット開口	
隣接キャビネットに必要な開口寸法	
C 同梱部品の使用箇所	5
給水・排水・電源設備	
給排水ホース接続	
D ドア材のH寸法だし	6
E 設置のしかた	6
F 本製品設置後のチェック項目【試運転】	10
G 巾木キットについて	11
H PNC およびシリアルナンバーの記載箇所について	12

開梱および同梱部品の確認

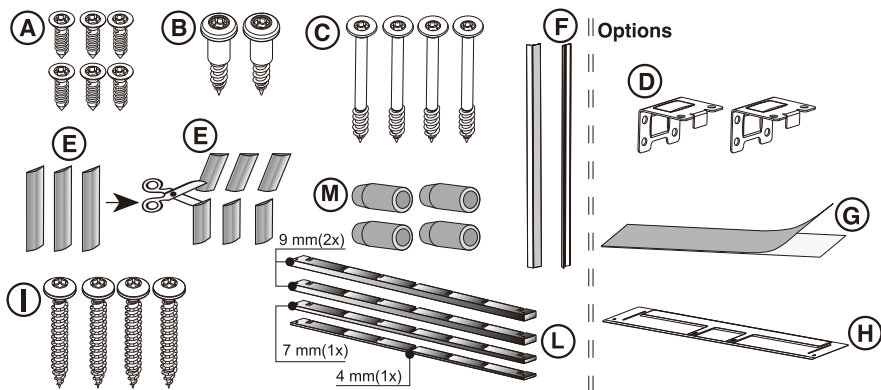
△ 注意 本体を開梱した際、必ず同梱部品の確認をしてください。特にネジ類は、余った場合でも大切に保管してください。

❶ ご使用方法、使用箇所が分からない部品があっても、廃棄せずに弊社までご連絡をお願い致します。

<p>同梱 パーツ 名称</p>	 ラバー ジョイント	 スクリュー ジョイント	 シーリング プレート 3枚セット	 ・取扱説明書 (保証書付) ・本設置 マニュアル	 ドア材取り 付け用型紙	洗剤サンプル × 1
						

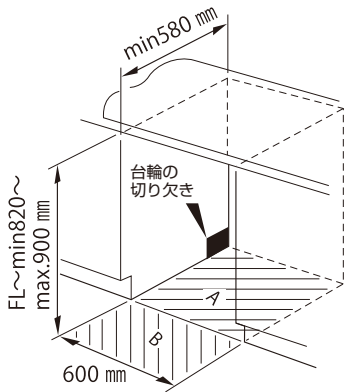
本製品を設置する際、トルクスドライバー T20 ★ が必要です。

ビルトイン用部品の確認

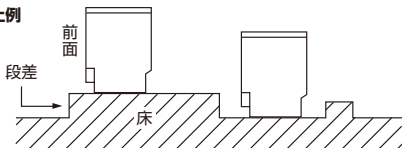


※ビルトイン用部品に関しては予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品設置のためのキャビネット開口



禁止例



- 本製品設置床面 A と、設置箇所前床面 B は同一レベルの高さ（段差が無いよう）に仕上げてください。

△ 注意

カーペットやフローリング等を後貼りした場合、設置面と引き出しする床面に段差がついてしまい、本製品を引き出す事が出来なくなります。修理や点検を行えなくなりますのでご注意ください。

△ 注意

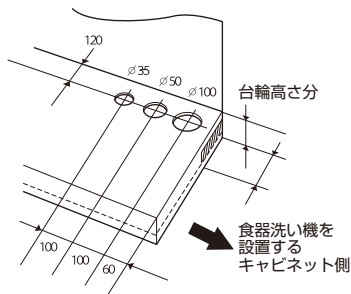
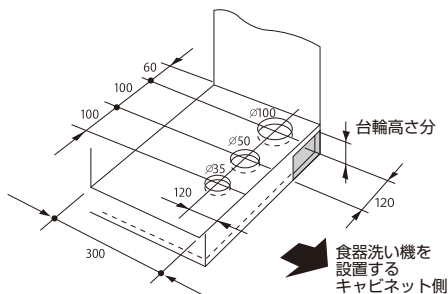
本製品の背面に給排水設備を設置する事は絶対にしないでください。故障などが発生した際に適切な対応ができず、拡大損害につながるおそれがあります。

- ① 本製品を隣接するキャビネット / 天板 / 床などにコーキング剤等で固定しないでください。
- ① カウンターの高さにご注意ください。(FL ~ 820mm 以上)

隣接キャビネットに必要な開口寸法

- ① 開口を設置する際、事前に給・排水ホースの長さを確認してください。

[隣接するキャビネットの加工例]



△ 注意

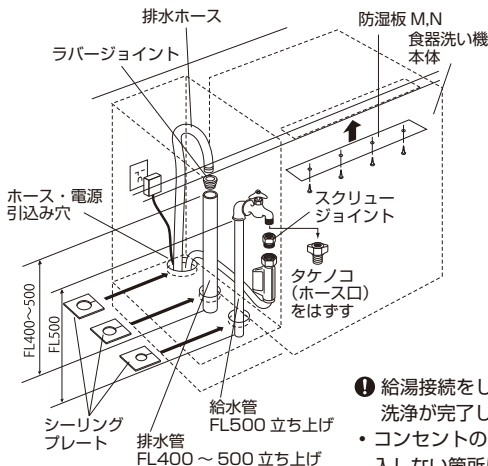
継ぎ手を使用した給排水ホースなどの延長は、継ぎ目から水漏れの原因となり拡大損害につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。

△ 注意

本製品の背面に給排水設備を設置すると、故障などが発生した際にご使用者様自身で給水栓を閉める等の対応が出来ず、拡大損害につながるおそれがあります。絶対に背面側へ給排水設備を設置しないでください。

給水・排水・電源設備

① 給排水工事は、水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。



△ 警告

アース接地工事が不完全な場合、故障、誤作動、漏電時に感電するなど、重大事故の原因となります。必ず適切な工事を行ってください。

△ 注意

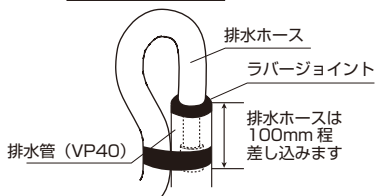
電源は本製品 1 台につき、1 つの専用回路を設けてください。

- ・単相 200V、20A の専用回路と漏電ブレーカー
- ・アース付コンセント
WKS294 (露出型・パナソニック株式会社)
WN1932 (埋込型・パナソニック株式会社)

- ① 給湯接続をしないでください。プログラムされた時間どおりに洗浄が完了しない等、動作不具合の原因となる事があります。
- ・コンセントの位置は、万が一水漏れが発生した場合でも水が入らない箇所に設置して下さい。
 - ・排水管の立ち上げが不十分な場合や、排水ホースを排水管の中に入れ過ぎた場合、正常に動作しない事があります。

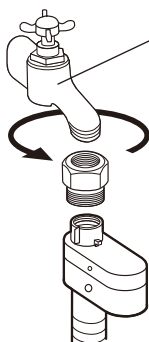
給排水ホース接続

排水ホース接続



1. 排水ホースにあらかじめラバージョイントを取り付けます。(本体側に向かって 100 ~ 150mm 程辺りまで)
2. 排水ホースを排水管に差し込みます。
3. 排水管の口の部分にラバージョイントをしっかりと差し込み、排水管～ラバージョイントをビニールテープで抜けないようにしっかりと固定します。
4. 次に、排水管と排水ホースを図のように U 字型にしまとめ、ビニールテープまたはインシュロックに固定します。

給水ホース接続



・給水設備

- 1/2" カップリング付横水栓
7030-13 (カクダイ) または JY30J-13 (三栄水栓)
※接続の際、タケノコ (ホース口) は外します。

△ 注意

給水管の立ち上がりは、床面より 500mm 必要です。

※ 高さが足りない場合、給水ホースにストレスが掛かり水漏れなどの原因となります。また、給水ホースの接続向きは必ず図の通りに行う必要があります。横向きや下向きなどで接続すると、漏水時にアクアコントロール機能が正常に働かず、拡大損害につながるおそれがあります。弊社指定以外の設置方法や、各接続部の増し締めを行っているかなど、設置前に確認を行ってから適切に接続してください。

△ 注意

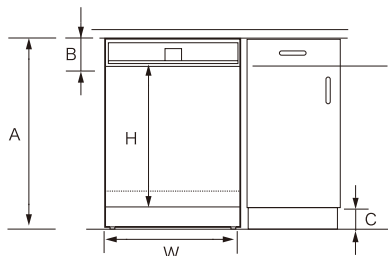
排水管 (VP40) の立ち上がりは床面より 400mm ~ 500mm 必要です。

※ 立ち上がりが不十分な場合、ホース類が届かない場合があります。また、正常な運転が行えずエラーが表示される、必要以上の負荷による早期故障等、不具合の原因となります。

ドア材のH寸法だし

D

正確にドア材の下端合わせをするため、ドア材の加工作業前に下記のA,B,Cの寸法どりを行ってください。



A= 設置床面～カウンター下端までの高さ

B= カウンター下～コントロールパネル下までの高さ (121mm) + 【飾り板(L)】の幅 (Max.33mm)

C= 床面～隣接キャビネット下端までの高さ (40mm 以上)

ドア材寸法 (隣接キャビネットに合わせる場合)

ドア材H寸法=図 A-B-Cとなります。

※設定出来るドア材の最大H寸法は655mmです。

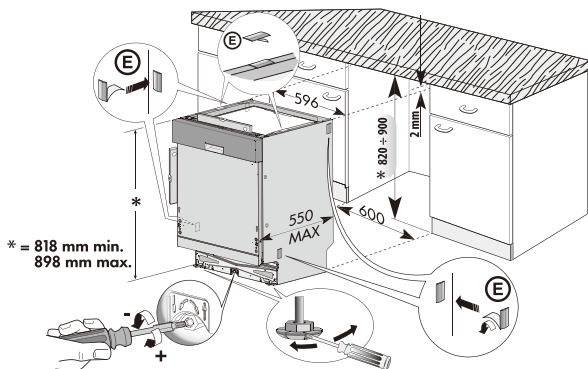
ドア材のW寸法= 596mm

- ① H寸法は570mm～655mmとなります。
※飾り板を使用する場合は、その寸法分を除いてください。

設置のしかた

E

1 脚の調整/キャビネット開口について



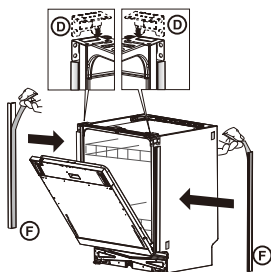
- ビルトイン用部品の【スペーサー(E)】を半分に切り、本体の天面奥側×2 / 本体側面手前下側×2 / 本体側面奥側上部×2の位置に貼り付けてください。
- トルクスドライバーで本製品下中央にあるネジを回し、後ろ脚の高さをカウンターの高さに合わせてます。

① 設置する床面に配管があった場合などは、調整脚が破損する原因となりますので、本製品を押し込んだ後に調整脚を伸ばして下さい。

- 左右の前脚を回し、カウンターの高さに合わせてます。

① 本製品が水平に設置出来るように、調整脚を必ず使用して下さい。蒸気漏れなどが発生する原因となります。

2 フィラー/製品固定金具の取り付け

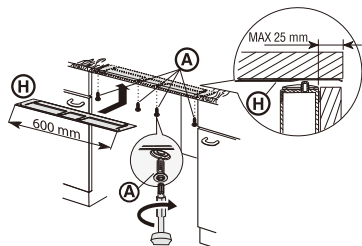


ビルトイン用部品の【フィラー(F)】と【L字金具(D)】を取り付けます。

① フィラーは製品使用時の水分からキャビネットを保護します。必ず取り付けを行ってください。

① L型金具は、隣接するキャビネットや天面カウンターへのネジによる本体固定の為に使用します。固定をしていない場合、蒸気漏れや本体の歪み、本製品自体の転倒などにつながるおそれがあります。必ずネジによる固定を行ってください。

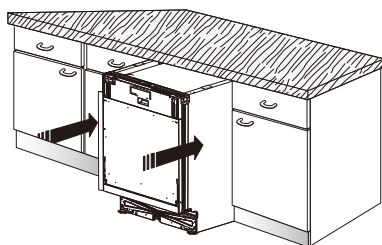
3 防湿板の取り付け



ビルトイン用部品の【防湿板 (H)】をカウンターの裏面に【ネジ (A)】で取り付けます。

【防湿板 (H)】を取り付ける場合、ドア材の厚みは最大 25mm までになります。

4 本体の設置



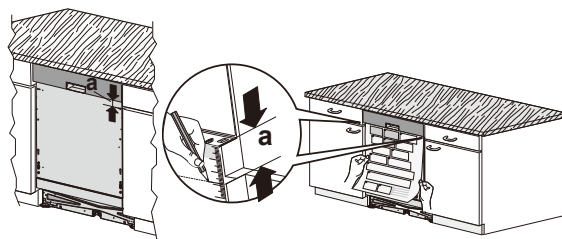
本製品をキャビネットに押し込んで仮設置します。

① ホース類、電源コードを挟み込まないように注意して押し込んでください。

5 ドア材の取り付け

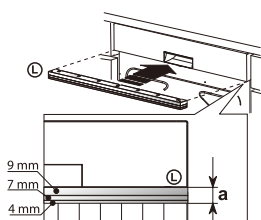
コントロールパネルとドアの隙間 a を算出します。

食器洗いの扉に型紙を乗せて、左右のドア材の高さを印づけます。



a mm	9 mm	7 mm	4 mm
0...5	-	-	-
6...9	-	-	1
10...11	-	1	-
12...13	1	-	-
14...15	-	1	1
16...17	1	-	1
18...19	1	1	-
20...21	2	-	-
22...23	1	1	1
24...25	2	-	1
26...27	2	1	-
28...29	2	1	-
30...33	2	1	1

6 飾り板の取り付け



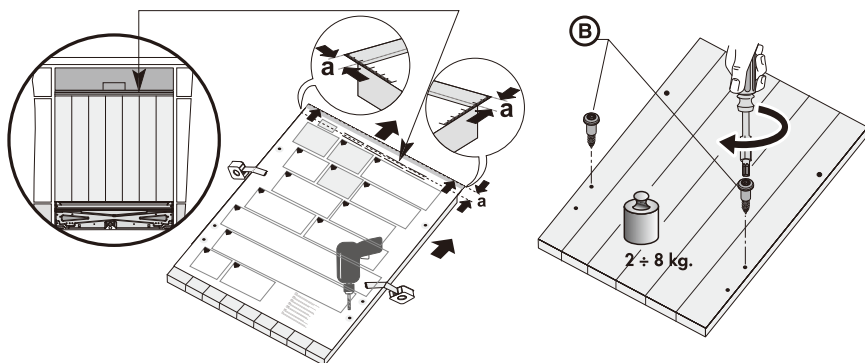
キャビネット扉が規格寸法品で操作パネルとの間に隙間が生じる場合は、左右のドア材の下端に合わせ【飾り板 (L)】を取り付けます。

飾り板の寸法は上の表を参照してください。

7 ドア材取付金具の取り付け

ドア材に型紙を当て、印をつけた位置を上に合わせてみます。型紙の ⊕ マークの上から 2 × 14 の下穴をドリルで開けます。

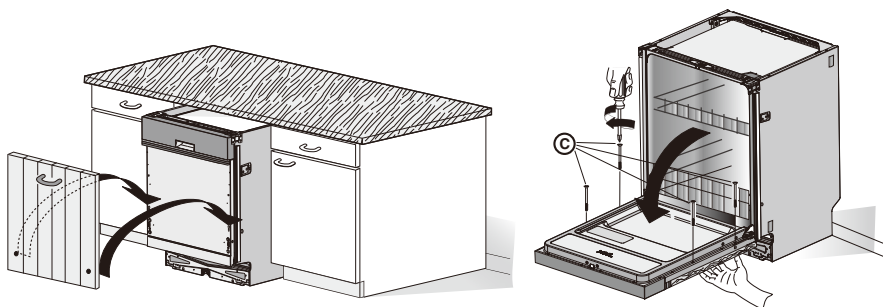
【ドア材取付金具 (B)】 を取り付けます。



8 ドア材の固定

ドア材を食器洗い機の扉に取り付けます。

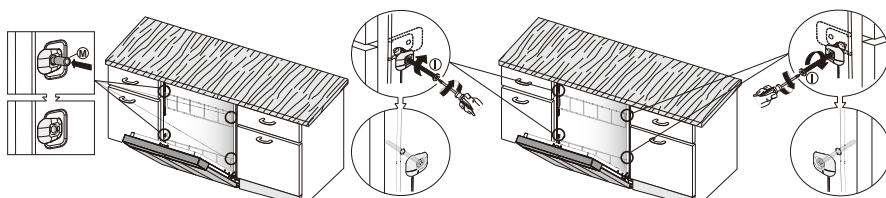
扉を開き、ドライバーでドア材を【ビス (C)】 でとめます。



9 本体の固定

△ 注意 ネジをインパクトドライバーで締め付けしないでください。ステンレスドアの歪みによる蒸気漏れやキャビネットへの損害が発生します。

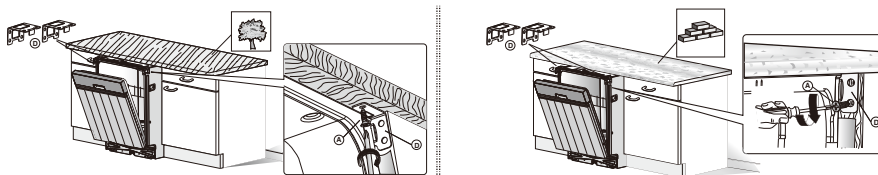
左右 2 か所ずつの本体固定穴に【ビスガイド (M)】 を挿入し、本体を側面キャビネットに【ビス (I)】 で固定します。



10 本体の固定

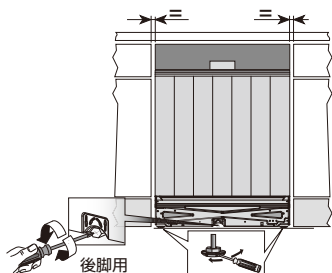
【L字型固定金具 (D)】を用いて本体をカウンターに【ビス (A)】で固定します。
 (側面又は天面どちらか1方向に対して1カ所を固定)

※カウンター裏面が石材の場合は側面、木材の場合は天面のように使い分けてください。



11 隣接キャビネットとの調整

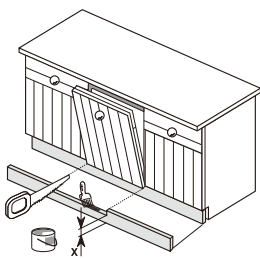
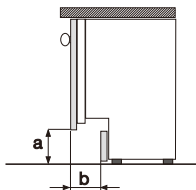
本体設置後に、再び脚の調整をして水平になるようにして下さい。



巾木の寸法 (表を参考に算出して下さい)

巾木の切り欠き寸法 (図-X) は、ドア材の寸法やドア材表面から巾木表面までの離隔距離によって異なります。

1. 設置床面からドア材下端までの距離を a、ドア材表面から巾木表面までの離隔距離を b とし、設置床面からの距離 X を割り出します。
2. 本製品のドア材横幅と同等の 600mm 以上をカットして下さい。

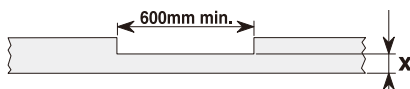


b(mm)

	40	50	60	70	80	90	100
40	40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90	90	90
100	100	100	100	100	100	100	100
110	105	105	105	105	106	110	110
120	108	108	108	108	120	120	120
130	108	108	108	130	130	130	130
140	140	108	131	140	140	139	138

a (mm)

X



本製品設置後のチェック項目【試運転】

F

必ず試運転をし、動作チェックを行ってください。

製品の引き渡し時にご使用者様にチェックした内容が分かるようにお渡しください。
万一、設置等に不備があった場合、弊社では一切の責任を負いません。

点検箇所	チェック事項	参照項目	チェック
設置	防湿板やフィラーの取り付けは適切にされていますか？ 洗浄中に発生した蒸気がカウンターなどに直接当たり、カウンター天板が劣化します。必ず取り付けを行ってください。		
	本体は水平に固定されていますか？ 設置が適切でない場合、本体が歪み、洗浄時に発生する蒸気の漏れや漏水、早期劣化の原因となったり、本製品付属の固定金具が当たるなど、不具合の原因となります。		

接続	ホース類に水漏れはありませんか？ 折れ、ねじれ、水経路上にストレスが発生するような曲がり方、本体接触による押しつぶし等があると正常に給排水が行えず、故障や水漏れの原因となります。		
	給水ホース⇔給水栓などの接続部の増し締めは行いましたか？ しっかり締め付けていないと、水漏れの原因となります。蛇口を開けて、水漏れがない事を必ずご確認ください。		
	給水管の立ち上がりは床面から 500mm ありますか？ 立ち上がりが無い場合、給水ホースの接続が行えない、給水ホースへの異常なストレスによる早期劣化破損や、漏水発生時に安全装置が働かず、周囲設備側へ漏水による拡大損害等が発生する原因などになります。 必ず本設置マニュアルの通りの立ち上がり、給水ホースの向きで設置を行って下さい。		
	排水管の立ち上がりは床面から 400 ~ 500mm ありますか？ 排水ホースを延長しての設置は、継手部分から漏水が発生する可能性があるので行わないでください。弊社指定の施工を行って設置してください。		
	単相 200V・20A の専用回路と漏電しゃ断器を設けていますか？ 100V では正常に動作しません。また、本製品のプラグを勝手に変更する、直結で接続する等、設置マニュアル記載以外の方法で設置する事を禁じます。		
	【法的有資格者】によるアース工事及び電気配線工事を、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って行いましたか？ 電気設備が適切でない場合、漏電、火災等の重大事故に繋がるおそれがあります。		

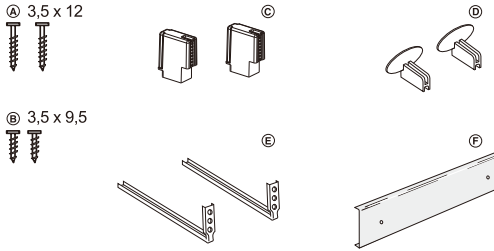
必ず、設置後に給排水や洗浄、プログラムの設定やキャンセルが正常に行える事を確認し、水漏れが発生していないか確認を行ってください。

試運転	給水栓を開き、一次側の電源が単相 200V で、アース接続がされている事を確認してください。		
	<ol style="list-style-type: none"> 給水栓を開きます。 排水管に排水ホースがしっかり差し込んである事を確認し、電源ボタンを押して電源を入れます。 ※電源ボタンはドア天面部分にあり、ドアを開いてから押します。 Program ボタンを数回押し、LED ランプを【30min】コースに合わせ、Start ボタンを押してドアを開けて試運転を行います。 ※ドアを閉めた後、排水、給水動作を繰り返す事がありますが正常です。表示時間はおよそその目安となり、試運転時の環境により終了時間が前後します。 ※スプレーアームのナットが緩んでいた場合、漏水の原因となります。必ず試運転時に緩みがないかどうか確認を行ってください。 試運転動作完了後、ドアを開けてお湯になっているかを確認してください。 再度、スプレーアームのナットに緩みがないか確認し、庫内底面のゴミフィルターの破損が無いかを確認します。 		
	試運転確認後、引き渡しまでに時間が空いてしまう場合は、給水栓の閉栓やドアをしっかり閉じるなど、万一の水漏れ事故発生時に備え、安全を確保して下さい。		

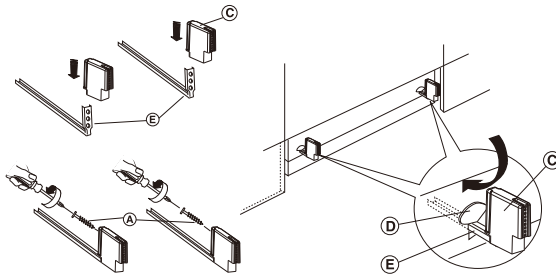
別売品 D911740561 使用の場合

ご注意：キッチンの中木高が FL + 100mm 以下の場合、使用できません。

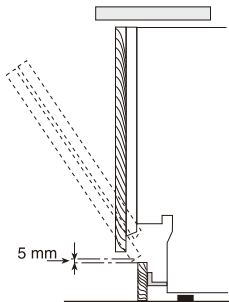
1 同梱部品



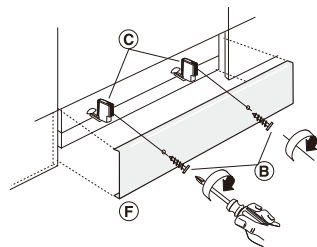
2 部品の取り付け方



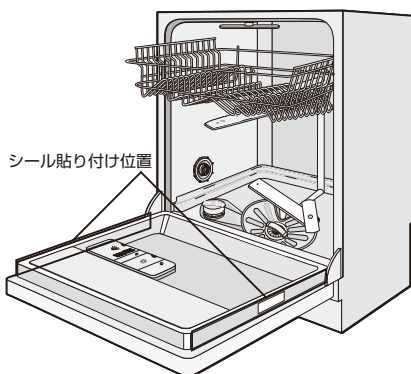
3 巾木の調節



巾木材を用意する場合
巾木の高さは P9 を参照してください



同梱の巾木を使用の場合
(幅 596 高さ 85 厚さ 10mm)



本製品をご使用者様に引き渡す際、必ず以下の点を取扱説明書および本設置マニュアルに記載の上、お渡し頂きますようお願いいたします。

- Prod.No. (PNC : 9桁もしくは11桁の数字のみで構成された番号となります。)
- Ser.No. (シリアルナンバー : 8桁の数字のみで構成された番号となります。)
- 本製品をご購入された販売店名および日付の分かる書類
【例】納品書、領収書など

シリアルナンバー記載箇所について

- ① 本製品のドアを手前に倒します。
- ② 倒したドアの庫内側ステンレスの側面にシールが貼り付けられています。

設備点検確認者：

機器点検確認者：

Prod. No. (※)：

Ser. No.：

本製品は特定保守製品です。

- 本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるものをいいます。
- 本製品付属の本マニュアルおよび取扱説明書、特定保守製品所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者様や関連事業者様より、消費者、賃貸業者など製品の所有者（以下ご使用者様）にご説明のうえお渡しください。
所有者票の代行記入などを行う場合は、ご使用者様の同意がある場合等が条件となります。
このため、必ずご使用者様本人の同意を得てから行ってください。
- 本製品を取得された方は、特定保守製品の輸入事業者に対する所有者情報の提供に協力する責務があります。詳しくは、本製品付属の取扱説明書をご確認ください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
メジャーアプライアンス事業部

●本製品についてのお問合せは
東京 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館6F
TEL (03) 6743-3070 FAX (03) 3434-4123
<http://www.aeg-jp.com>